株式会社ユピテル
YUPITERU

テレコントロールエンジンスターター

VE-E7

取扱説明書／保証書

このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

⚠警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身での取り付け作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■ 取り付け可能な車

- 車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- 12V車で、⊖ アースの車

※ 上記の３つの条件を満たす車以外ではご使用いただけません。

- マニュアル車・外国車には取り付けできません。

電波到達距離（直線見通し）3,000mを実現

高度な通信技術、エンジン始動制御技術の採用により、安定したエンジンの始動・停止ができます。

市街地、住宅地(見通し)	約300m(300m～700m)
妨害電波の少ない河川道路(見通し)	2,000ｍ～最大3,000ｍ(当社測定)

※ 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではございません。電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。
※ ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときのほうが短くなることがあります。
※ 車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご使用ください。

ご使用の前に（安全上のご注意）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

絵表示について

△ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告　警告を無視した取り扱いをすると、死亡したり重傷を負う可能性があります。

シフトレバーは必ずP（パーキング）の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する
思わぬ事故の原因になり大変危険です。

車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない
発火の恐れがあります。

一般公道での使用や車のボディカバーをかけたまま、換気の悪い場所では使用しない
罰則や発火、排気ガスによる中毒の恐れがあります。

お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない
室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する
お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。

必ずボンネットが閉まっている状態で使用する
エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

暖機運転の直後にエンジン点検などを行わない
火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過したあと、十分注意して行ってください。

煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない
発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する
そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない
感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください
- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき

走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置がはたらかないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない
エンジンスターターの安全機能がはたらかず、思わぬ事故につながる場合があります。

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

むやみに操作ボタンを押さない
リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。

マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しない
排気ガスが車内に充満して大変危険です。

⚠注意　注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ（オートアンテナ車の場合）をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また積雪や凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- すべての窓を閉めてください。
- すべてのドアを施錠（ロック状態）してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

地域により車輌の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

本機を取り付けたことによる、車輌や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

仕 様

■送信機（リモコン）

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送信周波数	426.0750MHz
送信出力	1mW以下
送信時間制御	送信時間：３秒以内 送信休止時間：２秒以上
使用電池	リチウム電池　CR1616×１
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	29(W)×50(H)×9.5(D)mm （突起部含まず）
重量	16.5g(電池含む)

■受信機（メインユニット）

受信周波数	426.0750MHz
電源電圧	12V車専用（DC9～16V）
消費電流	スリープ時：約4mA以下 待機時：約8mA 最大：約300mA
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
寸法	111（W）×26（H）×61（D）mm （突起部含まず） アンテナ線：約2.4m
重量	105g

オプション

※ オプション品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

1　ドアロック/アンロック機能（別売A-17SF：キーレスエントリー）
離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。
※別売のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。
※適応車種限定　　弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表でご確認ください。

2　ハザードアンサーバック機能（別売A-18SF：ハザード制御）
本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。
また、本機でのドアロック/アンロック時にハザードランプを点滅（1回/2回）させることができます。

3　ドアミラーコントロール機能（別売A-35SF：ドアミラーコントローラ）
本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。
※適応車種限定　　弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表でご確認ください。

ご使用にあたって

使用上のご注意

■ 車から降りる際にワイパーなどの電源をOFFにしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車を故障させることがあります。
■ 整備や車検などで、第三者に車を預けるときは、不意のエンジン始動を避けるため、リモコンの電池を抜いてください。
■ 国産車の多くは、走行中(エンジン始動中）、安全のために純正キーレスエントリーやスマートキーなどをキャンセルする仕様となっております。本機でのアイドリング中、純正キーレスなどの操作が無効となる場合、ドアの鍵穴や本機のドアロック機能（オプション対応）でロック/アンロックしてください。
■ オートクルーズシステムや電動チルトステアリング、ドライビングポジションシステムの装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
■ 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機のエンジン始動ができにくくなります。

リモコンについて

■ リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
■ リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
■ リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
■ リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
■ リモコンを次のような場所に放置しないでください。
- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。

■ リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。
■ 電池が消耗するとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
■ キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効になります。

本機について

■ **オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車などで、本機をご使用になる場合**
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※ 暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
■ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなることがあります。
■ **ドアロック（施錠）/アンロック（解錠）機能について**（オプション対応）
アンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。 本機でエンジンを始動する直前（セルが回っている間）はリモコン操作を受け付けません。

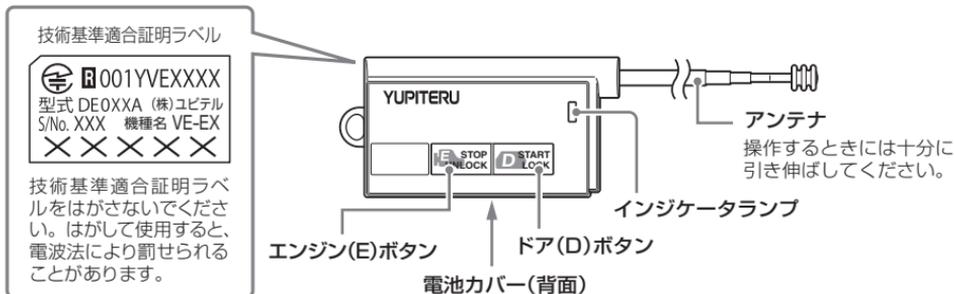
電波法について

■ 電池カバー内側の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
■ 海外では使用しないでください。
■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

1 各部の名称とはたらき

リモコン

本機リモコンは、ダブルアクション操作（2回押し操作）により誤作動を防止しています。

ダブルアクションの最初にエンジン(E)ボタンを押した場合は、エンジンスターターの操作となり、最初にドア(D)ボタンを押した場合は、ドアロック/アンロックのキーレス操作※ができます。

※ • 別売 キーレスエントリー：A-17SF 接続時のみドアロック / アンロック動作が行えます。
A-17SF の他に、別売のアダプターやハーネスが必要となる場合があります。
• 車種によって、ドアロック / アンロック機能を使用できない場合があります。

2 電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。電池交換中は車輌周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

●電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

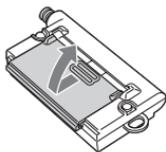
●電池寿命の目安

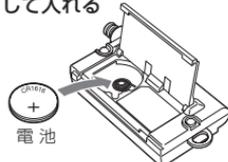
約1年を目安に新しい電池（CR1616)と交換してください。

※ 電池寿命は使用する条件によって異なります。
※ 付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。
※ 指定の電池（CR1616）以外は使用しないでください。

1 電池カバーを開ける

2 電池を取り出す

ここにボールペンなど、先の細いものを差し込む

3 電池(CR1616)を、⊕を上にして入れる

CR1616
\+
電池

※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

4 電池カバーを閉める

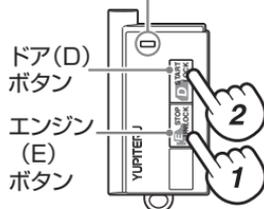
⚠ 警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

3 エンジン始動の操作

リモコンの操作

1 エンジン（E）ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す

2 インジケータランプが点滅中（約3秒間）に、ドア（D）ボタンを押す
インジケータランプが点滅から、点灯（約２秒間）へ
変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 安全機能のチェックを自動的に行う

・ メインユニットから『ピピッ』と鳴ります。

4 エンジンを始動させる

・ 始動すると、アイドリング中はメインユニットから断続音が鳴り続けます。（本機でエンジンを始動させたことをお知らせします）
・ 始動しなかったときは、リトライ機能がはたらきます。
・ 別売 ハザード制御：A-18SFを接続していると、エンジン始動後、ハザードランプを3回点滅させて、エンジン始動をお知らせします。

● 始動したあと、設定されている時間※が経過すると自動的にエンジンは停止します。
※2分から30分。（アイドリング時間の設定は☛10エンジンスターターの設定参照）

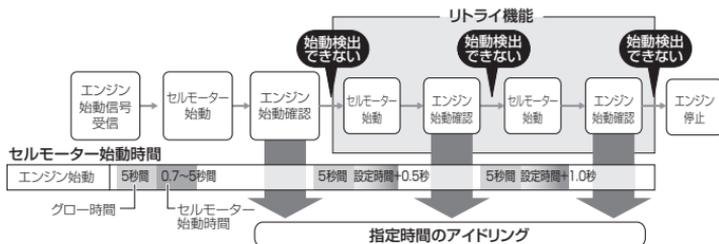
リモコンを操作するときは

• アンテナを完全に引き伸ばし、垂直に立てて操作してください。
• アンテナを手で覆ったり、触れた状態で操作すると電波が飛びにくくなります。

⚠ 注意

降車する際はワイパーの電源を「OFF」に
凍結や積雪でワイパーが動かない状態でエンジン始動を行うと、車種別専用ハーネスのヒューズ切れや車輌を故障させることがあります。

リトライ機能とセルモーター始動時間について

エンジンが始動できなかったときに、再始動（リトライ）を２回行います。

※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。
※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動（リトライ）を繰り返す場合があります。このような場合は、始動判定方法選択を『特殊判定』に変更してください。（☛10 エンジンスターターの設定）
※ 始動判定方法選択を『特殊判定』に変更しても、再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線（白線）の接続が必要です。

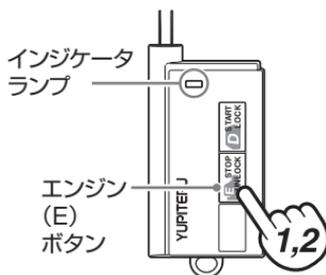
4 エンジン停止の操作

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止(アイドリングを中止)することができます。

リモコンの操作

1 エンジン(E)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す

2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す

インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 エンジンが停止する

メインユニットからの断続音が鳴りやみます。

※ フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすることで、エンジンを停止することもできます。

・本機によるエンジン始動中、車載電装品のノイズ等による影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。
・エンジンが始動できなかった場合、上記の操作(エンジン(E)ボタンの2度押し)で始動エラー音を確認することができます。(始動エラー音については☛ 13 こんなときは参照)

⚠ 注意

ライトスイッチは「OFF」に

ドアの開閉でライトが消灯するオートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車では、「AUTO」の状態で本機でエンジン始動をした場合、ライトが点灯し、エンジン停止したあとも消灯しません。

5 車に乗るときは

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車輌本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動してください。

走行する際

1 リモコン操作でエンジンを停止させる

2 車輌本来の操作(キー操作など)で、エンジンを始動させる

走行できます。

6 ドアロック / アンロックの操作

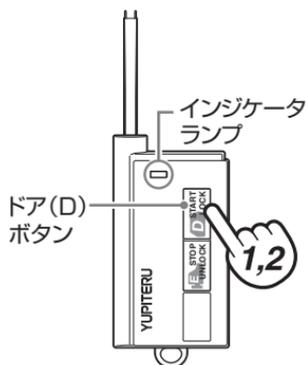
別売キーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。

※別売のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合やドアロック/アンロック機能を使用いただけない場合があります。

ドアを閉める（ドアロック）

1 **ドア（D）ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す**

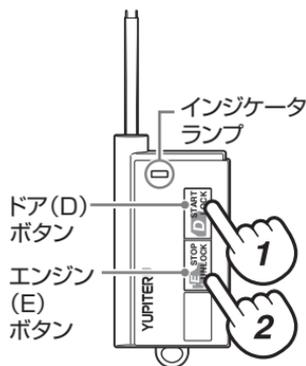
2 **インジケータランプが点滅中（約3秒間）に、ドア（D）ボタンを押す**

インジケータランプが点滅から、点灯（約2秒間）へ変わり、ドアロック信号が送信されます。

※ 別売ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを1回点滅させて、ドアがロックされたことをお知らせします。

ドアを開ける（ドアアンロック）

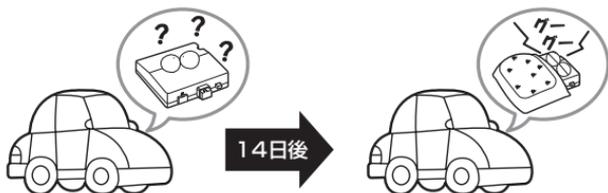
1 **ドア（D）ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す**

2 **インジケータランプが点滅中（約3秒間）に、エンジン（E）ボタンを押す**

インジケータランプが点滅から、点灯（約2秒間）へ変わり、ドアアンロック信号が送信されます。

※ 別売ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを2回点滅させて、ドアがアンロックされたことをお知らせします。

- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能（ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロックする機能）を搭載していませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。

7 スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。
スリープ機能がはたらくと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度車輌本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動させてください。

本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

8 安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがP（パーキング）またはN（ニュートラル）ポジション以外のときは、本機によるエンジンの始動やターボタイマー機能は動作しません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態（ONポジションまで回さない状態）でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車輌では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへブレーキ検出線の接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。
またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがP（パーキング）の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動したあと、設定した時間（アイドリング時間）が経過するとエンジンが自動的に停止します。

■ 誤動作を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードが設定されており、他の電波による誤動作を防止します。

9 ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドリングを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を使う（ON）使わない（OFF）を設定できます。
アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、P（パーキング）またはN（ニュートラル）にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあとも、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ ターボタイマー機能は、シフトレバーがP（パーキング）または、N（ニュートラル）の位置でないと動作しません。
ただし、P・ポジション検出ができない車輌でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがP（パーキング）の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

※ ターボタイマー機能は、動作開始から約１秒後にACC電源がONになる動作仕様となっております。ターボタイマー動作のキッカケとして、キーOFF時に一度、ACCがOFFになりますが、車本来の動作とするため、ACC電源を再度ONに戻しています。

■ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。
（☛10 エンジンスターターの設定）

■ ターボタイマー機能を使用すると

ターボタイマー機能をONに設定し、走行後、シフトレバーをP（パーキング）またはN（ニュートラル）にすると、自動的にアフターアイドリング動作を開始します。

※ アフターアイドリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※ 給油等でアフターアイドリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止させることができます。

■オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間にあわせて、アフターアイドリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフター アイドリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ 走行時間は、シフトレバーがP（パーキング）またはN（ニュートラル）以外の位置に移動している時間をカウントしています。

※ ターボタイマー機能のアフターアイドリング時間は、シフトレバーがP（パーキング）に移動したことを検出した時点で開始します。

⚠ 注意

ご使用になる車種により、まれに正常にはたらかないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

※ カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーがはたらいてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

10 エンジンスターターの設定

本機は車輌や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車輌の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定（設定には専門知識が必要です）

車にあった、セル時間を0.7/ 1.0/ 1.3/ 1.5/ 2.0/ 3.0/ 5.0秒の7段階から選択できます。
セルモーターの引きずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※工場出荷時は 1.0 秒に設定されています。

ポイント

オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモーターを停止します。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を2/ 10/ 15/ 20/ 30分の5段階から選択できます。

※工場出荷時は 10分に設定されています。

グロー時間の設定

リモコンからの電波を受信後、セルモーターを回すまでの時間を2.0/3.0/5.0/7.0/10.0秒の5段階から選択できます。
一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※工場出荷時は5.0 秒に設定されています。

ご注意

グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFFが設定できます。

※工場出荷時は「OFF」に設定されています。

ご注意

アフターアイドリング時間を手動で設定することはできません。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

下記手順では、ドア（D）ボタンを D ボタン、エンジン（E）ボタンを E ボタンと表記しています。

D と E ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に D ボタンを押す。
メインユニットから『ピロロロロ』と鳴ります。

D を2回押す → 設定値が１つ進みます
E を2回押す → 設定値が１つ戻ります

（灰色）：工場出荷時

セル時間の設定
項目音『ピッ』

D（2回押し）

設定時間	設定音
0.7秒	『ピッ』
1.0秒	『ピピッ』
1.3秒	『ピピピッ』
1.5秒	『ピピピピッ』
2.0秒	『ピー』
3.0秒	『ピーピッ』
5.0秒	『ピーピピッ』

E（2回押し）

D を2回押す　E を2回押す

アイドリング時間の設定
項目音『ピピッ』

D（2回押し）

設定時間	設定音
2分	『ピッ』
10分	『ピピッ』
15分	『ピピピッ』
20分	『ピピピピッ』
30分	『ピー』

E（2回押し）

D を2回押す　E を2回押す

グロー時間の設定
項目音『ピピピッ』

D（2回押し）

設定時間	設定音
2.0秒	『ピッ』
3.0秒	『ピピッ』
5.0秒	『ピピピッ』
7.0秒	『ピピピピッ』
10.0秒	『ピー』

E（2回押し）

D を2回押す　E を2回押す

ターボタイマー機能の設定
項目音『ピピピピッ』

D（2回押し）

設定項目	設定音
OFF	『ピッ』
ON	『ピピッ』

E（2回押し）

D と E ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に D ボタンを押す メインユニットから『ピロ』と鳴ります。

D と E ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に D ボタンを押す メインユニットから『ピーピー』と鳴り、設定完了です。

※ 項目音、設定音はメインユニットから鳴ります。
※ 30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから『ププー』と鳴り、設定内容を無効にします。初めから操作をやり直してください。

本機は車輌や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車輌の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セルモーター停止タイミング検出方法選択（設定には専門知識が必要です）

セル時間を設定してもセルモーターの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモーターの引きずりがない場合は、設定変更しないでください。

※ 工場出荷時は「オルタネータ検出」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

ポイント

工場出荷時の設定（「オルタネータ検出」を選択）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（☛ 10 エンジンスターターの設定）で、セルモーターを停止します。

ご注意

一部の車輌ではセルモーター停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモーターの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

始動判定方法選択

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

※工場出荷時は「判定する」に設定されています。

ご注意

特殊判定を選択したときは、エンジンの始動ができなかった場合でもアクセサリー電源などを停止状態（電源をOFF）にならない場合がありますので、頻繁にエンジンが始動しない状態が続く場合は、車輌のバッテリー上がりにご注意ください。

IG設定（設定には専門知識が必要です）

車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車輌のみ、設定値を変更してください。上記以外の車輌では設定を変更しないでください。

※工場出荷時は「IG1+IG2」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

エンジンスターター特殊制御設定（設定には専門知識が必要です）

車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車輌のみ、設定値を「OFF」に変更してください。上記以外の車輌では設定を変更しないでください。

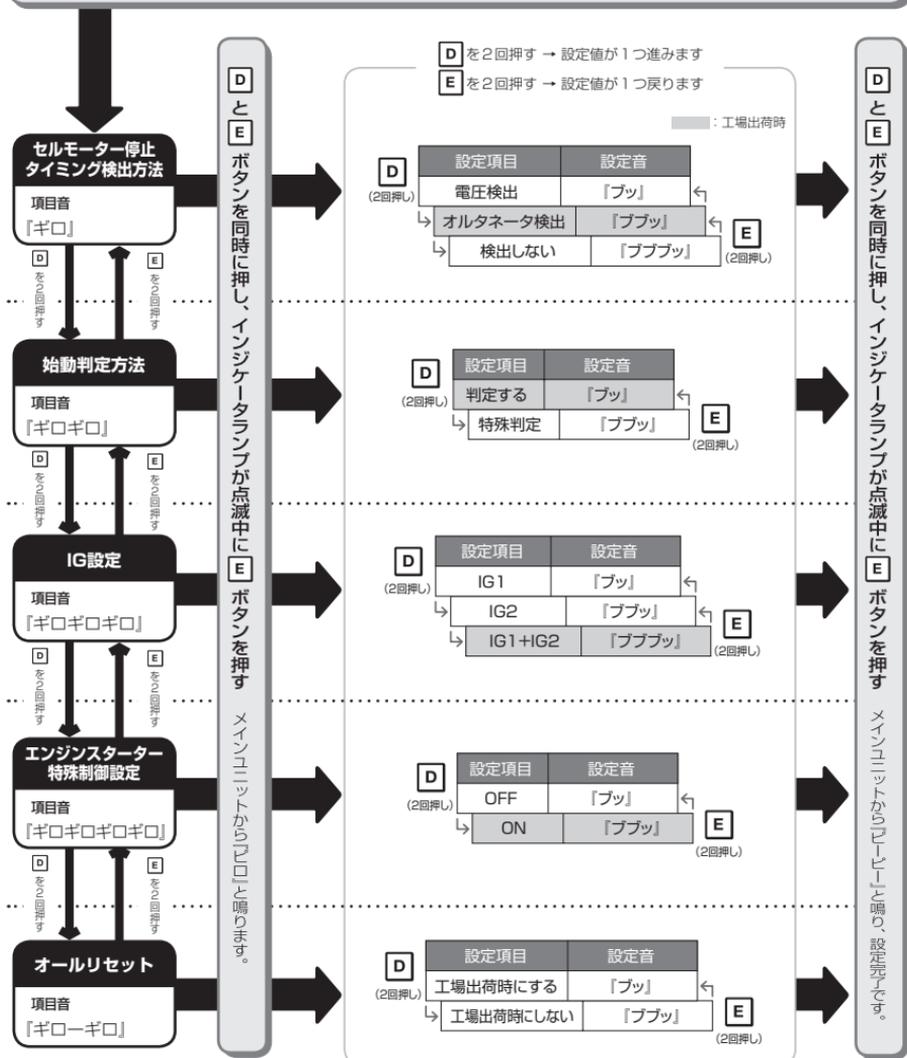
※ 工場出荷時は「ON」に設定されています。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。

オールリセット

エンジンスターターの設定（☛ 10 エンジンスターターの設定）を工場出荷時の設定に戻します。

下記手順では、ドア（D）ボタンを D ボタン、エンジン（E）ボタンを E ボタンと表記しています。

※ 項目音、設定音はメインユニットから鳴ります。
※ 30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから『ププー』と鳴り、設定内容を無効にします。初めから操作をやり直してください。

11 車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、車載ユニットから『ピピピッ ピピピッ ・・・』が鳴り、P（パーキング）・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※P（パーキング）検出がリセットされると、本機によるエンジン始動ができません。

車のバッテリー交換やバッテリー上がり、エンジンスターターを付け替えた場合は、下記の手順でP（パーキング）・ポジションの検出・設定を行ってください。

P・ポジション検出の設定手順

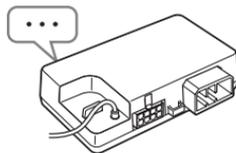
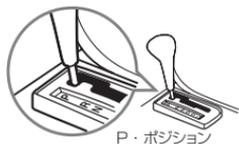
『ピピピッ ピピピッ　ピピピッ…』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 何も音が鳴っていない場合は、「車種別専用ハーネスの抜き差し」や「バッテリー マイナス端子の脱着」を行ってから、下記の手順で再設定を行ってください。

1 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー（エンジンスイッチ）をOFF → ACC → ONと切り替える

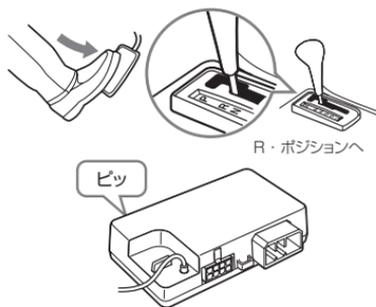
メインユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が止まります。

※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーをONにすると、正しく設定できないことがあります。

P・ポジション

2 ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合

3 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをP（パーキング）からR（リバース）に切り替える

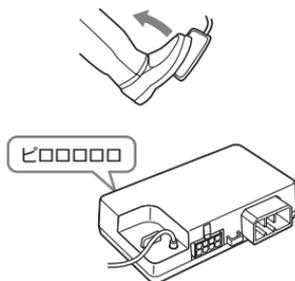
約3秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。

4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをP（パーキング）に戻す

『ピー』音または『ピロロロロロ』音が鳴ります。

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

ブレーキ検出線が接続されています。次のように操作してください。

3 ブレーキペダルから足を離す

確認音『ピロロロロロ』が鳴ります。

以上で設定完了です

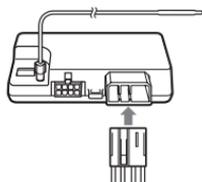
エンジンキー（エンジンスイッチ）をOFFに戻し『ピピピッピピピッピピピッ…』音が鳴らないことを確認してください。

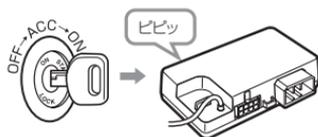
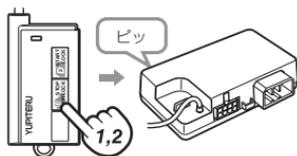
12 リモコンの登録方法

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。
※手順の途中でメインユニットから記載通りに音が鳴らない場合は、手順５に進み、再度手順１から操作を行ってください。

1 メインユニットからコネクター1をはずし、再度接続する

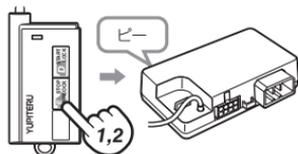
『ピピピッピピピッピピピッ…』と確認音が連続して鳴ります。

2 キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り替える

メインユニットから約3秒後に『ピピッ』と鳴ります。

3 『ピピッ』と鳴ってから20秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作(エンジン（E）ボタンを押し、インジケータランプが点滅中にエンジン（E）を押す）を行う

メインユニットから『ピッ』と鳴ります。

※メインユニットから『ピッ』と鳴らないときは、キーをOFFにして再度2の操作からやり直してください。

4 10秒以内に再度エンジン停止操作（エンジン（E）ボタンを押し、インジケータランプが点滅中にエンジン（E）ボタンを押す）を行う

メインユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。

※メインユニットから『ピー』と鳴らないときは、キーをOFFにして再度2の操作からやり直してください。

5 ON→ACC→OFFと切り替え、キーを抜く

リモコン登録後、つづけて、
P･ポジション検出の設定操作
（☛ 11 車内で「ピピピッピピピッ」音が鳴っている場合）を
行ってください。

13 こんなときは

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

症　状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンのインジケータランプが点滅しない	・電池が消耗していませんか？ ・電池が正しく入っていますか？	・新しい電池と交換してください。 ・正しく電池をセットしてください。(☛ 2 電池交換のしかた)
リモコン操作でエンジンが始動または停止できない	・スリープ機能がはたらいていませんか？(☛ 7 スリープ機能について)	・１度キーでエンジンをかけてください。
	・シフトレバーがP（パーキング）ポジションになっていますか？	・シフトレバーをP（パーキング）ポジションにしてください。
	・エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？	・正しく設定してください。(☛ 10 エンジンスターターの設定)
	・P・ポジション検出ができていますか？	・一部の車輌では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへブレーキ検出線の接続が必要です。（接続しないと、本機は動作しません）
	・車と離れすぎていませんか？	・電波の届く範囲内で操作を行ってください。
	・車のバッテリーが弱っていませんか？	・バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。
	・キー操作でエンジンが始動しますか？	・車の点検をしてください。
	・キーでエンジンを始動していませんか？	・キーでエンジンを停止してから行ってください。
	・リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？	・アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。
リモコン操作できる距離が短い	・リモコンのアンテナに手を触れていませんか？	・アンテナに手を触れないで操作を行ってください。
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。
	・車とリモコンの間に、障害物がありませんか？	・障害物のない場所から操作を行ってください。
	・リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？	・アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

始動エラー音について

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にメインユニットから鳴る音（エラー音）により、不具合状況を確認できます。
始動失敗後、リモコンの E ボタンの２度押し(エンジンの停止操作)でメインユニットからもう一度、エラー音を鳴らすことができます。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	Pポジションの検出ができていません。 (11 車内で「ピピピッ ピピピッ」音が鳴っている場合)
ピー ピ	エンジンスターター動作中断時 P・ポジション検出
ピー ピ ピ	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ピー ピー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピ	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
ピピピッ ピ	キー飛び込み検出
ピー ピーピピピ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常
ピピピッ	ターボタータイマー動作中断時溶着検出

14 アフターサービスについて

■保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から３年間です。（リモコンは１年、電池等消耗部品を除く）

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」（☛ 13 こんなときは）をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録（有償）することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

故障相談や修理のご依頼、付属品の購入や販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：30　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

地　　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　**TEL. (011)618-7071** 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　**TEL. (022)284-2501** 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　**TEL. (03)3769-2525** 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部　**TEL. (0564)66-8411** 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町檀ノ上3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知・鳥取・島根・岡山・広島・山口	大阪営業所・サービス部　**TEL. (06)6386-2555** 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　**TEL. (092)552-5351** 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

使い方に関するお問い合わせ

受付時間 10：00～17：30　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　TEL.（0564）45-6515

※故障相談や付属品の購入等につきましては、最寄りの弊社営業所・サービス部までご相談ください。

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。